

# 知覚動考

寒河江市立南部小学校  
校長室だより  
2025.4.16

「誰一人取り残さない 子供が育つ学校づくり」

今年度より、校長室だよりを、保護者・地域の方々（さくらメールにて配信）にもお読みいただくことにしました。定期的ではなく、校長の気まぐれにより発行いたします。（続けて発行するときもあれば、間が空く場合もあります。ご了承ください。）校長としての思いや考え、また、授業を通じた教員や子供の姿を発信していきます。内容についてご意見がある方は、校長（白田）までお願いします。

学校の様子につきましては、学校ホームページ【<https://nanbusyougakkousagae.edumap.jp/>】や動画、また、定期的に発行しています「コミスクだより」をご覧ください。



【HP QRコード】

校長室だよりの名前を「知覚動考」としました。「ちかくどうこう」または、「ともかくうごこう」と読みます。

これからは、予想困難な時代と言われています。学校教育においても、様々な課題解決のための新しい取り組みが要求されています。新たな取り組みを始める時は、失敗や批判を恐れ、慎重になってしまう場合が多いと感じています。しかし、目の前の子供たちは、待たなして変化していきます。そんなとき、慎重になりすぎては対応が遅れてしまうこともあります。

そこで、令和7年度の南部小学校は、「見通しが立ったら、失敗を恐れず、まずやってみよう。動いてから考えよう。」ということを職員間で共通理解しています。考えてから動こうとすると、できない理由が数多く出てきてしまいます。ですから、「まずやってみよう」を合言葉に、学校経営を進めているところです。当然、うまくいかないことや失敗することも出てきます。しかし、うまくできるまでやり続ければ、それは失敗ではなく、**やりとげるために必要な経験**であるととらえていきます。ぜひ、前向きに取り組んでいる南部小学校を温かく見守っていただければと思います。保護者・地域・学校が手を携え、「**子供のため**」に、**それぞれの立場で何ができるか**を考え、「ともかくうごいていく」チーム寒南をつくっていきたいと思います。ご協力よろしく願いいたします。

## 学校が大好きな子供を育てるために～スタートカリキュラム～

本校では、昨年度より、1年生で**スタートカリキュラム**を実施しています。

スタートカリキュラムとは、①幼稚園や保育園から入学してきた1年生が、**安心して**学校生活を送れるようにする。②スムーズに**教科の学習**につなげる。③**成長、自立の段階**を踏んで成長していけるように支援する。というねらいで組まれたカリキュラムのことです。実際の子供たちの様子は動画でも配信しています。一見、ただ、遊んでいるように見えます。しかし、子供たちは、**真剣で主体的な遊び**を通して様々なことを学んでいます。言葉の使い方や数、友達との関わり方と、我々大人が想像できないほどのことを学び、すさまじいスピードで吸収していきます。ここで大切になってくるのが、子供の行動をどうとらえ、どんなことを学んでいるのかを見極め、どんな言葉をかけるのか、**子供に関わる大人の対応**です。子供の言動に価値を見出し、それをどんな言葉で子供に伝えるのかが問われています。（本校では、子供を「**みとる目**」という言葉を使っています。）

まだ始まったばかりの取り組みで、本校職員も試行錯誤しながら実践しています。しかし、これまで行われてきた教育と比較して深く考えこんでしまっていては前に進みません。「ともかくうごこう」です。実践と振り返り、そしてまた実践の繰り返しです。常に前向きに取り組んでいる本校職員にエールをお願いします。

